



安全互助会だより

第7号（平成30年8月8日発行）

一般財団法人北海道高等学校安全互助会
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目
第二道通ビル
TEL (011) 252-0200 FAX (011) 252-0201
URL <http://www.h-anzen.com/>



長期的に安定した事業のために

理事長 新井田 寛

皆さんには、今年も充実した学校生活やPTA活動に取り組まれていることと思います。

本会は、ケガなどを負った際に早期に通常の学校生活に復帰できるよう経済的負担に対する相互扶助の精神のもとに、平成26年に設立され、翌27年から共済事業を実施し、これまで多くの方々に役立つことができましたことは、PTA会員相互の助け合いが体现されているものと思っております。

さて、スポーツ振興センターの統計によりますと、ここ6年間の傷病（主にケガ）に対する給付額の推移は、小学生で2割、中学生で1割減少していますが、逆に、

高校生では少子化が進んでいるにもかかわらず、ケガの発件数が増加し、給付額が3割も増加しています。

この急激な増加は、本会の傷病（主にケガ）の給付状況にもはっきりと現れており、件数の増加だけでなく、治療が長引いたり、治療費が高額になる傾向も強まっている現状にあります。

そこで、今年度、本会ではこれまでの給付状況を詳細に分析するとともに、共済制度が長く安定した運営体制のもとに進められるよう、必要な制度改正を行うことも視野入れながら、共済事業の検証を実施いたしますので、加入者の皆さんにはご理解くださいますようお願いいたします。

本会は、PTAの皆さんの相互扶助の精神から生まれた組織です。その原点を大切にしながら、今後も、皆さんのお役に立てる運営を進めてまいりたいと考えております。

■平成30年度定時評議員会を開催

6月16日（土）定時評議員会が評議員16名中14名が出席し、ホテル日航ノースランド帯広で開催されました。

新井田理事長の挨拶後、議長に山本和浩評議員、議事録署名人に三浦秀紀評議員、渡邊周一評議員を選任した後、議事に入りました。概要は次のとおりです。

- ・第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算の承認
共済事業を中心とした事業報告及び収支決算の説明の後、監査報告を三浦由貴子監事が行い、満場一致で承認されました。（詳細はホームページに掲載されています。）
- ・第2号議案 平成30年度事業計画及び収支予算の報告
2月22日（木）に開催された第4回理事会で決定された30年度の具体的な事業計画と収支予算について報告が行われました。

事業計画の給付事業では、現行事業の検証の実施、

助成事業では、新たに道高校体育連盟を対象としたこと、安全普及啓発事業では、各学校での取組を対象としたことを重点に説明が行われました。



議長は山本和浩評議員

- ・第3号議案 評議員の選任

任期満了にともない、新たに16名の評議員を選任しました。任期は平成34年度定時評議員会終了時までです。

- ・第4号議案 役員（理事・監事）の選任

任期満了にともない、新たに8名の理事、3名の監事を選任しました。任期はいずれも平成32年度定時評議員会終了時までです。

■理事会から

第1回理事会

5月19日（土）〔ANAクラウンプラザホテル札幌〕

30年度の共済事業の加入見込状況の報告、高P連支部総会における概要説明の内容について検討するとともに、定時評議員会の議案の確定を行いました。

臨時理事会

6月16日（土）〔ホテル日航ノースランド帯広〕

定時評議員会終了後、理事の互選により、理事長に新井田寛氏を選任しました。

第2回理事会

7月14日（土）〔ホテルライフオート札幌〕

常務理事の選任と業務担当を決定しました。続いて、30年度の事業日程及び助成金交付団体の決定、審査委員の選任を行いました。

■平成29年度共済金の給付状況

29年度の給付の対象には、27～28年度に発生した災害で治療が継続しているものも加わっています。

共済金等給付総計	3,340件	60,809,900円
----------	--------	-------------

※ 生徒へ給付した共済金及び香料、PTA会員へ給付した共済金の合計です。幸いにも生徒の学校管理下やPTA管理下における災害での死亡は発生しませんでした。障害が3件発生しました。また、PTA会員が活動中の死亡や障害、生徒の歯科補綴はありませんでした。

○生徒への給付

障 害	3件	1,750,000円
-----	----	------------

※ 10級1件、14級2件で、スポーツ振興センターで認定した等級に準じて給付されます。

傷 病	3,327件	58,239,900円
-----	--------	-------------

※ 安全互助会ではスポーツ振興センターの給付状況に応じて毎月給付するため給付件数は3,327件ですが、実際に発生した災害は2,339件でした。以下、発生状況を分析します。

・場面別

学校管理下の傷病では部活動中1,557件、授業中571件、通学中117件、休憩中92件です。

部活動中では、バスケットボール、野球、サッカーで790件を占めています。スポーツ振興センターの全国統計でも、この3部が最も多くなっています。

部活動の次に多いのは授業中で、そのうち416件は体育の授業中で、球技が多いですが、跳び箱やスポーツテスト中での発生もあります。

通学中のうち67件が自転車運転中です。また、休憩中は運動をしている時のケガが多いですが、階段での転倒なども発生しています。

・傷病別

骨折	614件
捻挫	362件
脱臼	104件
打撲・挫傷	245件
創傷	84件
靭帯損傷・断裂	416件
半月板損傷・断裂	85件
腱損傷・断裂	20件
歯牙破折	31件
その他負傷	59件
疾病	319件

骨折が最も多く、靭帯損傷・断裂、捻挫が続きます。疾病では、運動に起因するものが243件で最も多く、なかでも椎間板ヘルニア、腰椎分離症など腰を痛めるケースが多くなっています。

・部位別

足首や膝部を中心に下半身が5割を占めています。上半部は2割、頭頸部は1.5割となっています。

傷病と部位の相関のうち、骨折では手・指が最も多くついで足首、鼻の骨折と続きます。靭帯損傷・断裂や捻挫は足首と膝が大部分で、頭部の打撲も見られます。

香 料	8件	800,000円
-----	----	----------

※ 香料は学校やPTAの管理下でない場合における生徒の死亡に対して10万円を給付する制度です。

○PTAへの給付

※ PTA活動中のPTA会員が被った災害で、学校祭準備中に発生しました。

P 傷 病	2件	20,000円
-------	----	---------

■平成29年度末財務状況

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,875,392	814,565	3,060,827
現金預金(普通支払備金分)	2,031,400	1,653,000	378,400
現金預金(既発生未報告支払備金分)	66,085,050	64,559,531	1,525,519
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
流動資産計	71,991,842	67,027,096	4,964,746
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	0	0
基本財産計	0	0	0
(2) 特定資産			
準備金積立資産	10,000,000	10,000,000	0
責任準備金積立金	9,797,526	6,586,747	3,210,779
退職給付引当資産	666,000	320,000	346,000
特定資産計	20,463,526	16,906,747	3,556,779
固定資産計	20,463,526	16,906,747	3,556,779
資産合計	92,455,368	83,933,843	8,521,525
II 負債の部			
1. 流動負債			
普通支払備金	2,031,400	1,653,000	378,400
既発生未報告支払備金	66,085,050	64,559,531	1,525,519
未払金	0	0	0
預り金	227,255	142,169	85,086
流動負債計	68,343,705	66,354,700	1,989,005
2. 固定負債			
準備金	10,000,000	10,000,000	0
責任準備金	9,797,526	6,586,747	3,210,779
退職給付引当金	666,000	320,000	346,000
固定負債計	20,463,526	16,906,747	3,556,779
負債合計	88,807,231	83,261,447	5,545,784
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	3,648,137	672,396	2,975,741
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	3,648,137	672,396	2,975,741
負債及び正味財産合計	92,455,368	83,933,843	8,521,525

■平成30年度共済事業加入状況(7月末現在)

○加入校 191校

○生 徒 ・全日制 63,583人

・定時制 743人

・専攻科 224人

生徒計 64,550人

○教職員 3,828人

○子弟が在学していないPTA 95人

総 計 68,473人

※ 昨年度に比べ加入校は1校増加し、加入生徒数では1,214人増加しました。

※ 加入した生徒の父母を加えた、共済事業の対象となる総人数は約185,000人です。

■ 平成30年度業務計画

4月10日	公認会計士監査
4月11日	監事監査
4月26日	道教委関係部局との懇談会
5月19日	第1回理事会
5～6月	高P連支部総会における事業広報
6月8日	文部科学省共済法研修会
6月16日	定時評議員会
6月19日	29年度事業報告書提出（道教委へ）
7月5日	役員研修会（共済事業の検証）
7月9日	全国高等学校安全互助会連絡協議会役員会
7月14日	第2回理事会
8月8日	互助会だより第7号発行
8月初旬	役員変更届（道教委へ）
9月中旬	審査委員会
10月4日	全国高等学校安全互助会連絡協議会総会
10月上旬	公認会計士監査
11月22日	全国高等学校安全互助会連絡協議会研修会
12月8日	第3回理事会
1月下旬	「31年度共済事業の手引」発行 互助会だより第8号発行
2月2日	文部科学省共済法研修会
2月22日	第4回理事会
3月中旬	31年度安全普及啓発活動届（道教委へ）
4月上旬	内部会計定期監査 公認会計士監査 監事監査

この他に、常務理事会や偶数月初旬には内部会計定期監査が実施されます。

また、今年度から、各学校で行う健康や安全などに関する講演会等に助成する「健康安全普及啓発事業」には、8校が対象となり実施されています。

■ 平成30年度助成金交付団体

生徒の校内外の生活における健康・安全・健全育成に取り組んでいる団体から助成金交付団体を決定しました。

- ・ 北海道高等学校長協会生徒指導委員会
学校安全や生徒指導に関する調査研究や、いじめネットトラブル根絶メッセージコンクール及び交通安全標語・ポスターコンクールに対し助成します。
- ・ 北海道高等学校養護教諭研究会
生徒の校内外の健康や安全について指導する養護教諭の専門的な知識や技術の向上を目的とした養護教諭研究会に対して助成します。
- ・ 北海道高等学校体育連盟
道高体連が発行し、安全管理、事故発生時の対応、応急手当、スポーツ障害と予防等が掲載された「運動部活動顧問のためのハンドブック」の改訂・発行に対して助成します。

■ 平成30年度収支予算

平成30年度予算

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
会費収入	88,737,200	91,524,600	-2,787,400
雑収入	268,000	1,000	267,000
準備金等戻入額	68,243,077	66,356,468	1,886,609
収入合計	157,248,277	157,882,068	-633,791

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
事業費	150,342,528	161,016,304	-10,673,776
共済給付事業費	66,600,000	62,500,000	4,100,000
準備金等繰入額	61,578,776	80,140,304	-18,561,528
安全普及費	2,150,000	850,000	1,300,000
広報事業費	3,380,000	3,380,000	0
助成事業費	1,500,000	1,200,000	300,000
調査研究費	1,330,000	1,230,000	100,000
人件費	8,600,000	8,600,000	0
需用費	3,270,000	3,116,000	154,000
雑費	1,933,752	0	1,933,752
管理費	5,548,000	5,478,500	69,500
人件費	1,400,000	1,746,000	-346,000
事務費	1,750,000	1,750,000	0
需用費	2,000,000	1,950,000	50,000
雑費	398,000	32,500	365,500
当期支出合計	155,890,528	166,494,804	-10,604,276
当期収支差額	1,357,749	-8,612,736	9,970,485
前期繰越収支差額	1,642,251	8,740,350	-7,098,099
次期繰越収支差額	3,000,000	127,614	2,872,386

事務局から

- ・ 生徒の傷病共済金請求に係る書類の提出にあたっては、個人毎に、請求月毎に、「共済金請求書」「災害報告書」「医療費支払通知書」の3葉をまとめてクリップやホッチキスでとめて送付してください。（必要に応じ「医療費支払通知書」はコピーしてください。）
- ・ 同一災害の本会への請求が複数回になる場合は、2回目以降は「災害継続報告書」を添付しますが、その災害に関する本会への請求が初めての場合は「災害報告書」を添付してください。
- ・ 傷病共済金を請求する際に使用する第7号様式に請求該当月を記入する欄ができるなど、平成29年度から一部様式が変わりました。一部に古い様式での請求がありますので注意してください。
現在の様式は、本会のホームページからダウンロードして活用して下さい。
<http://www.h-anzen.com/>
- ・ 「医療費支払通知書」については、これに代え生徒個人の「児童生徒別給付一覧」にすることができます。こちらの方が請求の誤りが少ないようです。
- ・ 誤請求があった場合は、事務局より電話や文書で連絡していますが、「共済事業の手引」の該当部分を確認していただきますようお願いいたします。

保健室からこんにちは！！



「予測困難な時代に生きる」

旭川永嶺高等学校 養護教諭
野口 直美

7月に入り北海道では記録的な降雨があり、上川や空知地方では河川が氾濫。降りしきる雨音と携帯に配信される避難勧告や指示を知らせる警報音は、昨年の台風による南富良野や新得、芽室等の惨状を想起させ、「安全を考えよ」との緊張感を持ったメッセージに聞こえた。生徒の帰宅時の安全を守るため、下校時刻の繰り上げなど何らかの対応をとった学校もあったであろう。

しかし、その直後、私たちは200名を超える死者をはじめ、甚大な被害をもたらす西日本豪雨の光景を目にすることとなる。報道による被災地の様子は、そこで生きてきた人々の暮らしを根こそぎ奪い、「安全」を守ることは容易でないことをまざまざと見せつけられた。そして、今なお、被災した人々の生活や健康を脅かし続ける現実に胸が痛む。

「安全と健康を守る」ことは、すなわち「いのちを守る」ことである。予測困難な社会だからこそ、私たち大人は子供たちのいのちを守ると同時に、子供自身が自分でいのちを守ることができるスキルをしっかりと育まなければならない。

自然災害など多様な脅威に対し、様々な分野で「レジリエンス（＝速やかな回復力）」概念が着目されてきた現代社会。持続可能な社会実現のために「レジリエンス」が必要不可欠と認識されている。

一方心理学における「レジリエンス」は、一言で言うなら「しなやかな強さ」である。逆境や挑戦、潜在能力を引き出すときに発揮されるマイナスからプラスへ変換させる心の力として、誰もが持つポテンシャルであり、高めることが可能である。

自分で判断し行動する自覚や、様々な視点から物事を捉えるスキルが背景となる「レジリエンス」は、子供自身が自分のいのちを守るために、今後求められる力となるのではないか。

いうまでもなく、高校時代までに心身ともに健康であり続ける基盤を培うことは重要である。「人生をよりよく豊かに生きようとするのが健康」と捉える筆者は、生きることは○か×、全か無かといった二者択一で判断しえない自分の「納得解」を探求し続けることでもあると考える。

したがって高校生をはじめ若年者や子ども達には、自己への信頼をよりどころに肯定的な未来志向を持って、主体的に他者や社会と関わり合いながら歩み続けてほしいと願う。

■平成30年度 理事・監事・評議員

・理事

理事長 新井田寛（道高P連会長・札幌月寒）
常務理事 山本美加（道高P連副会長・札幌北陵）
常務理事 海東剛哲（道高P連副会長・留萌）
常務理事 永淵 優（道高P連副会長・札幌丘珠）
常務理事 山木 傑（道高P連副会長・滝川西）
理事 川口 淳（道校長協会会長・札幌南）
理事 谷坂常年（道高体連会長・札幌白石）
理事 齋藤淳子（道高養研副会長・野幌）

※ 常務理事の業務担当

・運営総括担当 新井田寛 理事長
・コンプライアンス担当 山木 傑 常務理事
・リスク管理担当 海東剛哲 常務理事
・内部会計監査担当 山本美加 常務理事
・理事会等議事録担当 永淵 優 常務理事

・監事

三浦由貴子（道高P連監事・遺愛女子）
瀬谷寛嗣（道高P連監事・札幌国際情報）
伊藤公紀（道高P連監事・札幌旭丘）

・評議員

森 政徒（道高P連石狩支部長・札幌英藍）
前岡亮司（道高P連道南支部長・函館商業）
平 竜次（道高P連後志支部長・小樽商業）
林千恵子（道高P連空知支部長・美唄聖華）
扇谷友和（道高P連旭川支部長・旭川商業）
高橋秀一（道高P連留萌支部長・留萌）
虎野 温（道高P連名寄支部長・名寄産業）
七山昌広（道高P連北見支部長・北見緑陵）
林 秀樹（道高P連十勝支部長・帯広農業）
奈良賢祐（道高P連釧路支部長・釧路北陽）
平澤 謙（道高P連根室支部長・根室）
高橋憲司（道高P連胆振支部長・苫小牧西）
伊藤静生（道高P連日高支部長・浦河）
河原範毅（道高等学校校長協会副会長・札幌東）
渡邊周一（道高等学校教頭副校長会会長・札幌北）
阿部雅一（道公立学校事務長会会長・札幌工業）

■平成30年度 審査委員会委員

後藤 聰（北海道医師会常任理事）
青木秀志（北海道歯科医師会常務理事）
上田智史（道高校長協会生徒指導委員長）
齊藤 聡（岩見沢東高校PTA会長）
山崎千鶴（札幌稲雲高校PTA会長）